

# ピーポポ

救急だより



編集・発行 / さつま町消防本部

〒895-1816 さつま町時吉366 Tel 52-0119 Fax 53-0119

Web <http://119.satsuma-net.jp/>

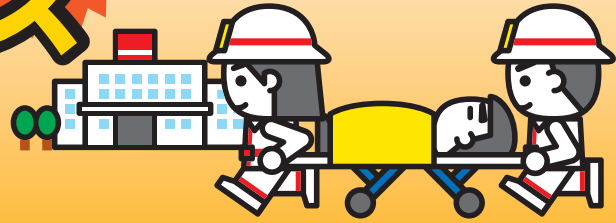
E-mail [shobo@satsuma-net.jp](mailto:shobo@satsuma-net.jp)

発行 令和2年9月



## 新型コロナウイルス

### 感染拡大を受けて 救急隊から皆様へ



新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、消防署では感染対策を強化しており、救急活動でゴーグルや感染防止衣等を着用して対応する場合があります。

これは救急活動という特殊な環境下において、隊員を感染から守ることで、町内の救急体制を維持するとともに住民の皆様へ感染を広げないようにすることが目的です。

なお、**感染防止衣での出動 = 新型コロナウイルス感染症などの搬送ではありません** ので、誤解による間違った情報の拡散が無いようにお願いします。

また、下記フローチャートのとおり、119番通報時に新型コロナウイルス感染症の疑いについて聞き取りを実施していることから、すぐに出動できない場合があります。感染防止の観点からも必要なことですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 119番通報時の流れ



住所など救急車の  
出動場所の聞き取り

傷病者の現在の  
状態と症状の聴取

新型コロナウイルス関連の追加情報の聴取

該当項目あり  
川薩保健所に連絡

該当項目なし  
通常の救急出動

保健所が詳しい情報などの聞き取り  
を実施し、救急出動の可否を判断

緊急性あり  
救急隊が搬送

緊急性なし  
保健所が搬送

緊急性なし  
自家用車受診



▲ 感染防止衣の種類 ▲

# 新型コロナウイルス感染症の感染予防を踏まえた

# 心肺蘇生法の手順



厚生労働省から「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた市民による救急蘇生法について（指針）」が発表されましたので、一連の流れをご紹介します。

**赤字部分**が感染予防を踏まえ、新たに追加された手順となります。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、一時、普通救命講習等の実施を自粛していましたが、現在、再開（一部条件付き）していますので、講習会に関するお問い合わせは、消防本部警防課救急係までお問い合わせください。

## ①周囲の安全確認・意識の確認

倒れている人を見つけたら、周りの安全を確認し、肩などやさしくたたきながら呼びかけて反応を確認

**ここが大切** 屋内であれば窓を開けて換気を行う



## ②呼吸の確認

10秒以内で胸や腹部の動きをみて「普段どおりの正常な呼吸」をしているか確認

**ここが大切** 傷病者に顔を近づけすぎない

## ③応援要請

大声で応援を呼ぶ

119番通報とAEDの手配

## ④胸骨圧迫

- ①強く約5cmの深さ（単三電池の長さ）で
- ②速く（1分間に100～120回のテンポ）
- ③絶え間なく胸を押す

**ここが大切** ○胸骨圧迫をする前に傷病者の口鼻にタオルやマスクをかぶせ、口からの飛沫を防ぐ  
○成人への人工呼吸は、感染のリスクが高くなるため実施しない



## ⑤ AED

電源を入れ、音声メッセージに従って操作する



## 救急隊引き継ぎ後

**ここが大切** ○救急隊に引き継いだ後は、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。  
○傷病者の口鼻にかぶせたタオルやマスクなどは、できるだけ直接触れないようにして廃棄するのが望ましい。